ＩＣＴ活用工事積算要領（海上地盤改良工：床掘工・置換工編）（令和７年４月改定版）

ＩＣＴ活用工事を実施する場合の積算については、以下に示す手順によるものとする。

①　工事価格

・共通仮設費（率）は、下表による率を用いて算出する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 20 億円以下		20 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
港湾構造物工事	7.93%	134.6	-0.1814	2.77%

※ICT 海上地盤改良工を含む工事を発注する場合は、上記率を適用する。

なお、床掘工のみ実施する場合は、ICT 浚渫工の共通仮設費率を適用するものとする。

共通仮設費率の算定式

Ｋｒ＝ａ・Ｐｂ（小数３位四捨五入）

ただし、

Ｋｒ　：共通仮設費率（%）

Ｐ　：共通仮設費率の算出対象額（円）

ａ、ｂ：定数値

・「ICT 施工」代価表

作業船乗組員の働き方改革の実現に向けた積算上の試行的取組の対象工事については、就業時間等を見直して適用するものとする。

現場条件により作業船の拘束が発生する場合は、別途考慮すること。

（1）ポンプ床掘　1日（　m^3）当り

名　　称	形状寸法	単位	数量	摘　　要
ポンプ浚渫船	鋼 D　　PS 型	日	1	運 16H／就 22H
揚　　錨　　船	鋼 D　　t 吊	〃	1	就業 8H
施工管理システム		〃	1	損料
中継ポンプ	鋼 D　　PS 型	〃		運　H／就　H
雑　　材　　料				

（2）グラブ床掘　1日（　m^3）当り

名　　称	形状寸法	単位	数　量		摘　　要
			アンカー式	スパッド式	
グラブ浚渫船	鋼 D　　m^3	日	1	1	運 8H／就 10H
揚　　錨　　船	鋼 D　　t 吊	〃	1	－	就業 8H
引　　船	鋼 D　　PS 型	〃	－	1	運 2H／就 8H
雑　　材　　料					

② 測量業務価格（３次元起工測量、３次元出来形管理の費用）

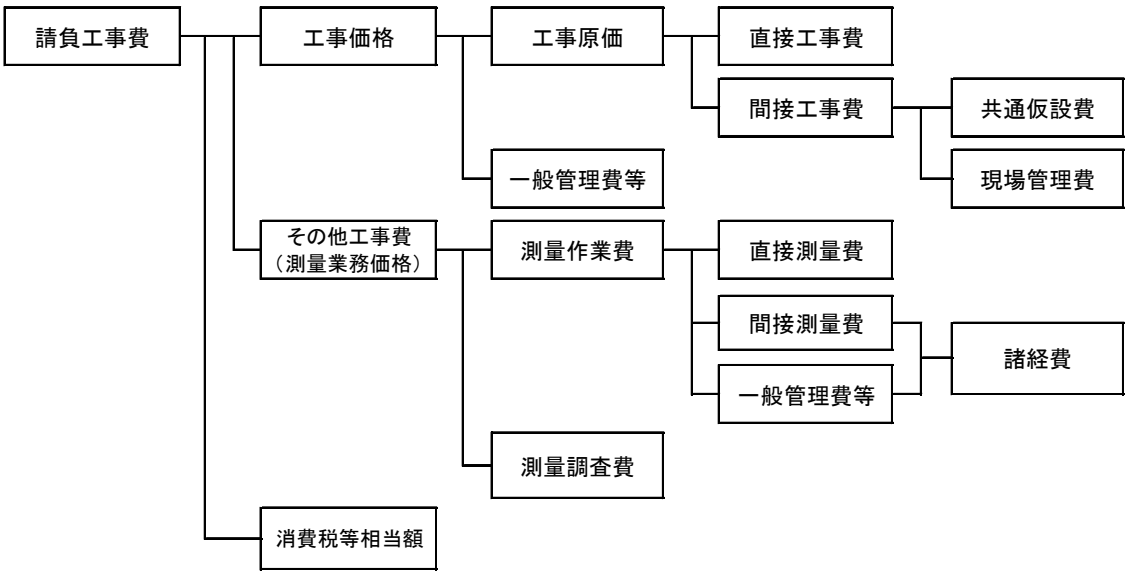
・３次元起工測量、３次元出来形管理（施工履歴、マルチビーム）は別紙により算出する。
なお、別紙記載の『基準』とは『港湾請負工事積算基準第３部』である。

・「業務成果品」「諸経費」は、３次元起工測量、３次元出来形管理の直接測量費の合計を対象金額として算出する。

・測量調査費については、別紙により算出する。

・「その他原価」「一般管理費等」は、３次元設計データ作成の直接人件費、業務原価を対象として算出する。

③ 算出した②測量業務価格をその他工事費に計上し、①工事価格と合算する。



【別紙】

ICT床掘・置換工事に適用する深浅測量について

（3次元起工測量）

項目	ICT床掘・置換工事実施に使用する特定代価

数量計算等

細別（レベル4）	積算要素（レベル6）	内容	単位	数位	摘要
測量準備	測量準備		式	1位止を原則とする。ただし、数量がkm2単位のものは小数3位四捨五入とする。	四捨五入
	機材運搬		式		
水深測量	検潮基準測定		式		
	検潮	測定日数	日		
	検潮資料整理	測定日数	日		
	艤装テスト		式		
	マルチビーム測深		式		
成果	起工時データ整理（MBC）		式		
	起工時データ整理	測深面積	式		
	3次元設計データ作成		施設		

①測量準備

測量準備　　1式当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
主任技師	測量	人	1	（外業 1）　※2−1=1
技師	〃	〃	1.5	（外業 1.5）　※3−1.5=1.5
技師補	〃	〃	1	（外業 1）　※2−1=1
助手	〃	〃	0.5	
雑材料		%	1	

※保安部等関係部署調整は元請けが行うものとし、外業分を控除

※上記には、竣工時の測量準備も含むものとする。なお、これによりがたい場合は別途考慮する。

※関係機関に発注者は除く。

②機材運搬

機材運搬　　（2往復当り）　　1式当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
測量補助員		人	2	
トラック	2t積	日		標準運転時間
雑材料		%	1	

※トラックの能力は、基準2編1節3−2−2　機材運搬による。

③検潮基準測定

検潮基準測定　　1式当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H
主任技師	測量	人	1	
技師	〃	〃	1	
雑材料		%	1	

※基準2編1節3−4−2　検潮基準測定により、必要に応じ計上する。

④検潮

検潮　　1日当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H
助手	測量	人	0.3	
雑材料		%	1	

※基準2編1節3−4−3　検潮により、必要に応じ計上する。

【別紙】

ICT床掘・置換工事に適用する深浅測量について

（3次元起工測量）

項目	ICT床掘・置換工事実施に使用する特定代価

⑤検潮資料整理

検潮資料整理　　10日当り

名　　称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘　　要
技　　師	測　　量	人	1	
技　師　補	〃	〃	1	
助　　手	〃	〃	1	
雑　材　料		%	1	

⑥艤装テスト

艤装テスト　　1式当り

名　　称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘　　要
交　通　車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
主 任 技 師	測　　量	人	1	
技　　師	〃	〃	1.5	
技　師　補	〃	〃	1.5	
助　　手	〃	〃	1	
測 量 船（運 転）	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
GNSS		〃	1	損料
ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑ測深機		〃	1	損料
雑　材　料		%	1	

※基準2編1節 参考資料-2　2-4-2　艤装テストにより、損料等を計上する。

⑦測深

測深　　1式当り

名　　称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘　　要
交　通　車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
測 量 船（運 転）	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
主 任 技 師	測　　量	人	1	
技　　師	〃	〃	1	
技　師　補	〃	〃	1	
助　　手	〃	〃	0.5	
GNSS		日	1	損料
ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑ測深機		〃	1	損料
雑　材　料		%	2	

※基準2編1節 参考資料-2　2-4-3　マルチビーム測深　の損料等により計上する。
受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。
測深は1日で設定しているが、測量箇所が点在するなど測深に1日以上要する場合は別途考慮する。

【別紙】

ICT床掘・置換工事に適用する深浅測量について

（3次元起工測量）

項目	ICT床掘・置換工事実施に使用する特定代価

⑧測深データ整理

○MBCを活用することを標準とする

起工時データ整理（MBC）　　1式当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
主任技師	測　量	人	3.0	
技　師	〃	〃	4.0	
技師補	〃	〃	0.5	
雑材料		%	4	電算機含む

※MBC：マルチビームデータクラウド処理システム

○MBCを活用できない場合に適用

起工時データ整理1式当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
主任技師	測　量	人		作業能力の算定による
技　師	〃	〃		〃
技師補	〃	〃		〃
雑材料		%	4	電算機含む

名　称	マルチビーム測深	摘　要
主任技師	3+1.3×A	A：測深面積（㎢） 測深面積（㎢）は小数3位四捨五入とする
技　師	4+1.2×A	
技師補	5+12.3×A	

※基準2編1節 参考資料-2　2-5-1　報告書作成　により端数処理を行う。

⑨三次元設計データ作成

3次元設計データ作成　　1施設当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
主任技師	設　計	人	1	
技師A	〃	〃	1.5	
技師B	〃	〃	1.5	
技師C		〃	1	

・事務用品費（電算費を含む）は、直接人件費の3%を標準とする。
・対象施設が複数ある場合は、施設毎の数量とする。
・測量調査費として計上を行う
・発注者が3次元データを提供できる場合は計上しない。

⑩出来形報告

【別紙】

《施工履歴データを用いた出来形管理を行う場合》
ICT床掘・置換工事に適用する施工履歴データを用いた出来形管理について

（3次元出来形管理（施工履歴））

項目	ICT床掘・置換工事実施に使用する特定代価

数量計算等

細　別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内　容	単位	数　　位	摘　要
成果	3次元出来形管理 (施工履歴)データ整理	計測面積	km2	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のものは小数3位四捨五入とする。	四捨五入
	業務成果品費		式		

①施工履歴データ整理

（参考歩掛）

3次元出来形管理(施工履歴)データ整理　1式当り

名　　称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘　　要
主 任 技 師	測　　量	人		作業能力の算定による
技　　師	〃	〃		〃
技　師　補	〃	〃		〃
雑　材　料		%	4	電算機含む

名　　称	施工履歴データ整理	摘　　要
主 任 技 師	4+0.6×A	A:計測面積(㎢) 計測面積(㎢)は小数3位四捨五入とする
技　　師	10+5.1×A	
技　師　補	9+4.6×A	

※基準2編1節 参考資料-2　2-5-1　報告書作成　により端数処理を行う。

②出来形報告

出来形報告　　1式当り

名　　称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘　　要
業務成果品費		式	1	

※基準2編1節3-5-2　業務成果品により計上する。

【別紙】

《マルチビームを用いた水深測量（出来形管理）を行う場合》
ICT床掘・置換工事に適用する深浅測量について

（3次元出来形管理（マルチビーム））

項目	ICT床掘・置換工事実施に使用する特定代価

数量計算等

3次元出来形管理（マルチビーム）

細別（レベル4）	積算要素（レベル6）	内容	単位	数位	摘要
測量準備	機材運搬		式	1位止を原則とする。ただし、数量がkm2単位のものは小数3位四捨五入とする。	四捨五入
水深測量	検潮基準測定		式		
	検潮	測定日数	日		
	検潮資料整理	測定日数	日		
	艤装テスト		式		
	ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑ測深		式		
成果	3次元出来形管理（マルチビーム）データ整理	測深面積	式		
	業務成果品費		式		

①測量準備

②機材運搬

機材運搬　（2往復当り）　1式当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
測量補助員		人	2	
トラック	2t積	日		標準運転時間
雑材料		%	1	

※トラックの能力は、基準2編1節3-2-2　機材運搬による。

③検潮基準測定

検潮基準測定　1式当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H
主任技師	測量	人	1	
技師	〃	〃	1	
雑材料		%	1	

※基準2編1節3-4-2　検潮基準測定により、必要に応じ計上する。

④検潮

検潮　1日当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H
助手	測量	人	0.3	
雑材料		%	1	

※基準2編1節3-4-3　検潮により、必要に応じ計上する。

【別紙】

《マルチビームを用いた水深測量（出来形管理）を行う場合》
ICT床掘・置換工事に適用する深浅測量について

（3次元出来形管理（マルチビーム））

項目	ICT床掘・置換工事実施に使用する特定代価

⑤検潮資料整理

検潮資料整理　　10日当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
技　師	測　量	人	1	
技師補	〃	〃	1	
助　手	〃	〃	1	
雑材料		%	1	

⑥艤装テスト

艤装テスト　　1式当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
交通車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
主任技師	測　量	人	1	
技　師	〃	〃	1.5	
技師補	〃	〃	1.5	
助　手	〃	〃	1	
測量船（運転）	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
GNSS		〃	1	損料
マルチﾋﾞｰﾑ測深機		〃	1	損料
雑材料		%	1	

※基準2編1節 参考資料-2　2-4-2　艤装テストにより、損料等を計上する。

⑦測深

測深　　1式当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
交通車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
測量船（運転）	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
主任技師	測　量	人	1	
技　師	〃	〃	1	
技師補	〃	〃	1	
助　手	〃	〃	0.5	
GNSS		日	1	損料
マルチﾋﾞｰﾑ測深機		〃	1	損料
雑材料		%	2	

※基準2編1節 参考資料-2　2-4-3　マルチビーム測深　の損料等により計上する。
受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。
測深は1日で設定しているが、測量箇所が点在するなど測深に1日以上要する場合は別途考慮する。

【別紙】

《マルチビームを用いた水深測量（出来形管理）を行う場合》
ICT床掘・置換工事に適用する深浅測量について

（3次元出来形管理（マルチビーム））

項目	ICT床掘・置換工事実施に使用する特定代価
⑧測深データ整理	

3次元出来形管理（マルチビーム）データ整理　1式当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
主任技師	測　量	人		作業能力の算定による
技　師	〃	〃		〃
技師補	〃	〃		〃
雑材料		%	4	電算機含む

名　称	マルチビーム測深	摘　要
主任技師	4+0.6×A	A:測深面積(㎢) 測深面積(㎢)は小数3位四捨五入とする
技　師	10+5.1×A	
技師補	9+4.6×A	

※基準2編1節 参考資料-2　2-5-1　報告書作成　により端数処理を行う。

⑨出来形報告

出来形報告　　1式当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
業務成果品費		式	1	

※基準2編1節3-5-2　業務成果品により計上する。